

1 月別気象概況（平成 25 年 1 月～12 月）

福岡管区気象台

（1）1 月の気象概況

1 月上旬：期間を通して冬型気圧配置となる日が多く、初めは雪。低温 少雨

期間を通して冬型の気圧配置となる日が多く、初めは雪の日もあった。

気温は、期間の初めと終わりに平年を上回る日もあったが、その他は平年を下回り、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は平年を上回る所が多かった。

県内各地の旬平均気温は 1.8～5.2℃（平年差-2.7～-1.5℃）で低く、旬降水量は 0.0～9.5mm（平年比 0～49%）でかなり少ない所が多く、旬日照時間は平年比 83～123%で概ね平年並だった。

1 月中旬：期間の初めと終わりは高気圧に覆われて晴れ、13～14 日は低気圧の影響で雨、17～18 日は強い寒気の影響で積雪。多照

期間の初めと終わりは高気圧に覆われて晴れた。13～14 日は台湾の北に発生した低気圧が発達しながら九州の南海上を通して関東沖に進んだ影響で雨、2 日間の県内の降水量は 16.0～37.0mm となった。17～18 日は強い寒気の流れ込みの影響でみぞれや雪、18 日は福岡で 3 センチの積雪を観測した。

気温は、期間の中頃にかけて平年を上回る日もあったが、平年を下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量と日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は 3.2～5.9℃（平年差-1.3～-0.3℃）で低い所が多く、旬降水量は 18.5～50.0mm（平年比 102～161%）で概ね多く、旬日照時間は平年比 127～154%で多かった。

1 月下旬：前半は雨や曇り、中頃は時々雪、期間の終わりは高気圧に覆われて晴れ。

期間の初めは前線や低気圧の影響で雨や曇り、中頃は冬型の気圧配置による強い寒気の影響で時々雪、期間の終わりは高気圧に覆われて晴れた。

気温は、中頃に平年を下回る期間もあったが、平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は 4.3～7.2℃（平年差 0.6～1.4℃）で高いところが多く、旬降水量は 7.5～32.0mm（平年比 35～124%）で平年並の所が多く、旬日照時間は平年比 107～146%で概ね多かった。

(2) 2月の気象概況

2月上旬：前線や低気圧、寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多かった。高温 多雨

期間の初めは高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や低気圧、冬型気圧配置による寒気の影響で曇りや雨、8日は強い寒気の影響で雪となった。

気温は、期間の終わりに平年を下回ったがその後は平年を上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は 5.7～7.9℃（平年差 0.6～2.0℃）で高く、旬降水量は 29.5～79.0mm（平年比 136～473%）でかなり多い所が多く、旬日照時間は平年比 62～87%で概ね少なかった。

2月中旬：期間を通して天気は短い周期で変化した。多雨

高気圧と低気圧や前線が交互に通過し、天気は短い周期で変化した。18日は前線を伴った低気圧が九州北部を通過したため、県の南部を中心にまとまった雨となった。20日は晴れて放射冷却により、内陸部を中心に冷え込んだ。

気温は、後半に平年を上回る日もあったが、平年を下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内全域で平年を上回り、日照時間は概ね平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は 4.0～7.0℃（平年差-1.6～0.7℃）で概ね低く、旬降水量は 41.0～84.0mm（平年比 143～201%）で多く、旬日照時間は平年比 77～100%で平年並の所が多かった。

2月下旬：期間を通して高気圧に覆われて概ね晴れた。多照

福岡で「日最小相対湿度」、耳納山で「月降水量の多い方から」の2月の極値更新。

低気圧や前線の影響で雨の降る日もあったが、期間を通して高気圧に覆われて概ね晴れた。

28日は高気圧に覆われ、福岡で日最小相対湿度 15%を観測し「日最小相対湿度」の2月の極値を更新した。また、2月はまとまった雨の降る日が多く、耳納山では月降水量 142.0mm を記録し「月降水量の多い方から」の2月の極値を更新した。

気温は、前半は概ね平年を下回り、後半は概ね平年を上回り、旬では平年を下回る所と上回る所があった。降水量は県内全域で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を大きく上回った。

県内各地の旬平均気温は 5.7～8.6℃（平年差-1.7～0.5℃）で平年並み、旬降水量は 4.0～25.0mm（平年比 18～93%）で概ね少なく、旬日照時間は平年比 141～172%でかなり多かった。

(3) 3月の気象概況

3月上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった。1日には春一番。高温 多照

8日に福岡で「日最小相対湿度」の3月の極値更新。

期間の初めは前線や寒気の影響で雨が降ったが、その他は高気圧に覆われて概ね晴れた。1日は、日本海の低気圧に吹き込む南よりの風が強まり、気温も上がって、九州北部地方（山口県を含む）は春一番が吹いた。8日から10日にかけて黄砂を観測した。8日は高気圧に覆われて空気が乾燥し、福岡で日最小相対湿度11%を観測し「日最小相対湿度」の3月の極値を更新した。

気温は、期間の前半は平年を下回る日があったが、後半は平年を大きく上回り、旬では県内各地で平年を大きく上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を大きく上回った。

県内各地の旬平均気温は9.6～12.3℃（平年差2.6～3.7℃）でかなり高く、旬降水量は9.5～54.5mm（平年比29～97%）で少ない所が多く、旬日照時間は平年比130～160%でかなり多かった。

3月中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったが終わりは前線の影響で曇りや雨。高温

18日に黒木などで「日最大1時間降水量」、久留米で「日最大風向・風速」の3月の極値更新。

期間の中頃までは高気圧に覆われて晴れた日が多く、期間の終わりは低気圧や前線の影響で雨が降った。18日は、前線を伴った低気圧が対馬海峡から関西地方に進み、南から湿った空気が流れ込んだ影響で雨となり、黒木で26.5mm、太宰府で20.0mm、宗像で17.5mmの日最大1時間降水量を観測し、「日最大1時間降水量」の3月の極値を更新した。また、南よりの風が強く、久留米で日最大風速11.3m/sを観測し、「日最大風向・風速」の3月の記録を更新した。

気温は、期間の中頃に平年を下回る日もあったが、その他は平年を上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は概ね平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は10.4～12.6℃（平年差1.7～2.4℃）で高く、旬降水量は34.0～105.5mm（平年比89～182%）で多い所が多く、旬日照時間は平年比101～117%で平年並の所が多かった。

3月下旬：天気は数日の周期で変化、崩れは小さかった。少雨

博多などで「月平均気温の高い方から」の3月の極値更新。

高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化したが天気の崩れは小さかった。

3月の気温は平年を上回る日が多く、博多、太宰府、久留米、黒木で「月平均気温の高い方から」の3月の極値を更新した。

旬の気温は、平年を上回る期間と下回る期間が交互に現れたが、旬では平年を上回る所が多かった。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は9.8～12.1℃（平年差-0.2～1.0℃）で平年並の所が多く、旬降水量は8.5～19.5mm（平年比20～37%）で県内各地少なく、旬日照時間は平年比102～118%で県内全域平年並だった。

(4) 4月の気象概況

4月上旬：天気は数日の周期で変化した。6日は急速に発達する低気圧が通過。

低気圧と高気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変化した。6日は急速に発達する低気圧が九州北岸を通過したため、県内で23.0～45.0mmのまとまった雨となった。

旬の気温は、前半は平年を上回る日が多く、後半は平年を下回る日が多く、かなり下回る日もあり、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は平年を上回る所が多く、日照時間は平年を上回る所が多かった。

県内各地の旬平均気温は11.1～13.1℃（平年差-1.0～-0.1℃）で平年より低い所が多く、旬降水量は34.5～74.5mm（平年比73～120%）で平年並が多く、旬日照時間は平年比84～106%で概ね平年並だった。

4月中旬：天気は数日の周期で変化した。寒気の影響で雷やひょう。

気圧の谷や前線と高気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変化した。寒気の影響で雷を伴う日が多く、14日はひょうが降った所があった。12～13日は高気圧に覆われて内陸を中心に遅霜が降りた所があった。

旬の気温は、中頃は平年を上回る日が多かったが、初めと終わりは平年を下回り、旬では概ね平年を下回った。降水量と日照時間は、概ね平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は12.5～14.7℃（平年差-1.2～0.1℃）で平年並の所が多く、旬降水量は31.0～70.5mm（平年比83～163%）で平年並の所が多く、旬日照時間は平年比98～124%で平年並の所が多かった。

4月下旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

23～24日は低気圧、30日は前線の通過で雨が降ったが、その他は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。22日と27日は晴れて放射冷却により、内陸部で遅霜となった所があった。

旬の気温は、期間の終わりに平年を上回る日もあったが、その他は平年を下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は13.6～16.2℃（平年差-0.5～-1.9℃）で概ね平年より低く、旬降水量は12.5～42.5mm（平年比37～69%）で概ね平年より少なく、旬日照時間は平年比104～127%で概ね平年より多かった。

(5) 5月の気象概況

5月上旬：高気圧に覆われて晴れた日が続いたが、期間の終わりに雨。低温 少雨 多照

2日に黒木などで「日最低気温の低い方から」の5月の極値更新。

高気圧に覆われて概ね晴れた日が続いたが、期間の終わりは前線や気圧の谷の影響で曇りや雨。

2日は内陸部を中心に明け方冷え込み、黒木で3.9℃、添田で4.1℃、博多で6.8℃の日最低気温を記録し、「日最低気温の低い方から」の5月の極値を更新した。

旬の気温は、後半に平年を上回る日もあったが、平年を下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を大きく上回った。

県内各地の旬平均気温は14.9～17.2℃（平年差-2.3～-1.4℃）で、県内各地で平年より低いまたはかなり低く、旬降水量は5.0～28.0mm（平年比10～40%）で、県内各地で平年より少なく、旬日照時間は平年比144～171%で、県内各地で平年よりかなり多かった。

5月中旬：天気は数日の周期で変化、天気の崩れは小さかった。高温 多照

天気は数日の周期で変化したが、天気の崩れは小さく降水量の少ない状態が続いた。

旬の気温は平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は18.7～21.2℃（平年差1.1～2.0℃）で、概ね平年よりかなり高く、旬降水量は5.0～22.0mm（平年比9～32%）で、概ね平年より少なく、旬日照時間は平年比125～151%で、県内各地で平年より多かった。

5月下旬：前半は高気圧に覆われて概ね晴れた、後半は気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨。九州北部地方（山口県を含む）は、27日ごろ梅雨入り。高温

24日は黒木で「日最高気温の高い方から」、宗像などで「月間日照時間の多い方から」、博多で「月降水量の少ない方から」の5月の極値更新。

期間の前半は高気圧に覆われて概ね晴れたが、期間の後半は気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨となった。24日は高気圧に覆われて気温が上がり、黒木では日最高気温が34.8℃となり、「日最高気温の高い方から」の5月の記録を更新した。また、5月は高気圧に覆われて晴れる日が多く、宗像、八幡、添田、朝倉、久留米、黒木、大牟田で「月間日照時間の多い方から」の5月の極値を更新、博多では「月降水量の少ない方から」の5月の極値を更新した。

27日に九州北部地方（山口県を含む）は梅雨入り（平年は6月5日ごろ、昨年は5月30日ごろ）した。

旬の気温は、終わりに平年を下回る所もあったが、その他は大きく上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量と日照時間は平年を下回る所が多かった。

県内各地の旬平均気温は21.1～23.7℃（平年差1.9～3.1℃）で、県内各地で平年よりかなり高く、旬降水量は16.0～84.0mm（平年比41～188%）で概ね平年並、旬日照時間は平年比94～101%で、県内各地で平年並だった。

(6) 6月の気象概況

**6月上旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨。寡照
2日は飯塚などで「日最高気温の低い方から」の6月の極値更新。**

期間の前半に高気圧に覆われて晴れた日もあったが、九州南岸上の梅雨前線や気圧の谷、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。2日は寒気の影響を受けて気温が上がらず、飯塚で日最高気温が17.4℃、行橋で17.7℃にとどまり、「日最高気温の低い方から」の6月の記録を更新した。

旬の気温は、はじめ平年を大きく下回る日があったが、その他は平年を上回る日が多く、旬では平年を上回る所が多かった。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は20.3～22.6℃（平年差-0.5～0.6℃）で概ね平年並、旬降水量は33.0～73.0mm（平年比85～162%）で平年並の所が多く、旬日照時間は平年比54～85%で、県内各地で平年より少なかった。

**6月中旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが湿った空気や梅雨前線の影響で曇りや雨。
高温**

期間の中頃には高気圧に覆われて晴れた日もあったが、湿った空気や梅雨前線の影響で曇りや雨となる日が多かった。福岡県では4月下旬から降水量の少ない状況が続いていたが、20日は梅雨前線の影響で、県内で35.5～178.5mmの雨となった。また、南からの暖かく湿った空気の影響で気温は高く経過し、県内各地で平年よりかなり高くなった。

旬の気温は、終わりに平年を下回る所もあったが、その他は平年を大きく上回り、旬では県内各地で平年を大きく上回った。降水量は平年を上回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は24.5～26.5℃（平年差2.0～3.3℃）で、県内各地で平年よりかなり高く、旬降水量は71.5～200.0mm（平年比69～187%）で平年並の所が多く、旬日照時間は平年比58～89%で、概ね平年より少なかった。

6月下旬：梅雨前線の影響で曇りや雨。寡照

期間の中頃に高気圧に覆われて一時晴れた日もあったが、梅雨前線が九州付近に停滞した影響で曇りや雨となった。21日は梅雨前線上を台風第4号から変わった低気圧が通過したため、県内で13.0～55.0mmのまとまった雨となった。また、26日は梅雨前線上の低気圧が九州北部付近を通過したため県内では34.0～123.0mmの大雨となった。

旬の気温は後半に平年を上回る日もあったが、平年を下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は21.8～23.5℃（平年差-1.6～-0.4℃）で、平年並か低く、旬降水量は83.0～203.0mm（平年比43～124%）で平年並の所が多く、旬日照時間は平年比25～61%で概ね平年よりかなり少なかった。

(7) 7月の気象概況

7月上旬：中頃までは梅雨前線の影響で曇りや雨、終わりは太平洋高気圧に覆われて晴れた。

3日は八幡で「日最大1時間降水量」、5日は前原で「日最低気温の高い方から」の7月の極値更新。

期間の中頃までは対馬海峡から朝鮮半島付近に停滞する梅雨前線と湿った空気の影響で曇りや雨、3日は雷を伴って県内で18.0～107.5mmの大雨となり、八幡では1時間降水量73.0mmを記録し「日最大1時間降水量」の7月の極値を更新した。また、6日は県内で14.5～104.0mmの大雨となった。5日は前原で日最低気温28.4℃を記録し「日最低気温の高い方から」の7月の極値を更新した。

8日に九州北部地方（山口県を含む）は、梅雨明け（平年は7月19日ごろ、去年は7月23日ごろ）した。

旬の気温は初め平年を下回る日もあったが、その他は平年を上回り、旬では県内各地で平年を大きく上回った。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は平年を上回る所が多かった。

県内各地の旬平均気温は26.2～28.8℃（平年差1.4～3.6℃）で平年よりかなり高く、旬降水量は105.0～184.0mm（平年比67～143%）で概ね平年並、旬日照時間は平年比84～118%で概ね平年並だった。

7月中旬：太平洋高気圧に覆われて晴れた。高温 少雨 多照

期間を通して太平洋高気圧に覆われて晴れたが、湿った空気の影響で一時雨となる日もあった。内陸部では強い日射の影響を受けて雷雨となる所もあった。

旬の気温は期間を通して平年より高く経過した。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は27.4～30.1℃（平年差1.4～3.0℃）で概ね平年よりかなり高く、旬降水量は0.0～27.5mm（平年比0～22%）で概ねかなり少なく、旬日照時間は平年比119～192%で概ねかなり多かった。

7月下旬：太平洋高気圧に覆われて晴れたが、中頃は曇りや雨。高温

23日は福岡で、25日は博多で「日最高気温の高い方から」、25日は福岡などで、29日は八幡などで「日最低気温の高い方から」、福岡などで「月平均気温の高い方から」の7月の極値更新。

31日に少雨と長期間の高温に関する福岡県気象情報第1号を発表。

太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、期間の中頃は太平洋高気圧の周辺部となって、暖かく湿った空気や気圧の谷の影響で不安定となり、曇りで一時雨や雷雨となる日もあった。気温が高く、23日は福岡で日最高気温37.3℃、25日には博多で36.0℃を記録し「日最高気温の高い方から」の7月の極値を更新した。25日は福岡で日最低気温29.8℃、宗像で28.0℃、行橋で27.6℃、黒木で26.5℃、29日は八幡で28.1℃、前原で29.5℃、太宰府で28.0℃を記録し「日最低気温の高い方から」の7月の極値を更新、福岡と前原は年間の極値も更新した。また、福岡では7月の月平均気温30.0℃、宗像で28.1℃、前原で29.5℃、博多で29.2℃を記録し「月平均気温の高い方から」の7月の極値を更新した。

旬の気温は期間を通して平年を上回り、県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は概ね平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は27.9～31.0℃（平年差0.8～2.9℃）で平年より高く、旬降水量は3.5～65.5mm（平年比5～95%）で平年並の所が多く、旬日照時間は平年比70～114%で平年並の所が多かった。

(8) 8月の気象概況

8月上旬：太平洋高気圧に覆われて晴れたが、中頃に雷を伴う雨。

4日に大牟田で「日最大1時間降水量」、10日に飯塚などで「日最高気温の高い方から」の8月の極値更新。

太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、期間の中頃に湿った空気や気圧の谷の影響で、雷を伴った激しい雨となった所があった。4日は、大牟田で1時間降水量75.5mmを記録し「日最大1時間降水量」の8月の極値を更新した。また、10日は晴れて気温が上がり、飯塚で日最高気温37.6℃、添田で37.2℃を記録し「日最高気温の高い方から」の8月の極値を更新した。

旬の気温は、期間の中頃に平年を下回る日もあったがその他の日は平年を上回り、県内各地で平年を上回った。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は平年を上回る所が多かった。

県内各地の旬平均気温は27.5～30.5℃(平年差0.3～2.4℃)で概ね平年より高く、旬降水量は6.0～149.0mm(平年比17～339%)で概ね平年並か多く、旬日照時間は平年比81～134%で概ね平年並となった。

**8月中旬：太平洋高気圧に覆われて晴れて猛暑が続き、少雨の状況が続いた。高温 少雨 多照
11日に行橋で、19日に博多などで、20日に福岡などで「日最高気温の高い方から」
の8月の極値を更新。**

14日に「少雨と長期間の高温に関する福岡県気象情報 第2号」を発表。

期間を通して、太平洋高気圧に覆われて晴れて、日最高気温が35℃を越す猛暑日が続いた。午後は積乱雲が発達して局所的に雷を伴った強い雨が降る所もあったが、まとまった雨が少なく、少雨の状況が続いた。11日には、行橋で日最高気温38.5℃、19日には博多で37.7℃、黒木で38.7℃、20日には福岡で37.9℃、八幡で36.6℃、朝倉で38.3℃、久留米で38.3℃を記録し、それぞれ「日最高気温の高い方から」の8月の極値を更新した。また、まとまった雨が降らず14日には、7月31日の第1号を引き継いで「少雨と長期間の高温に関する福岡県気象情報 第2号」を発表した。

旬の気温は、期間を通して平年を上回り、県内各地で平年を大きく上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は平年を大きく上回った。

県内各地の旬平均気温は28.8～31.5℃(平年差2.3～3.5℃)で平年よりかなり高く、旬降水量は0.0～24.5mm(平年比0～28%)で県内各地平年より少なく、旬日照時間は平年比148～183%で県内各地平年よりかなり多かった。

**8月下旬：高気圧と前線が交互に通過し、天気は周期的に変化、天気の崩れ大。多雨 寡照
「日最高気温の高い方から」、「月降水量の多い方から」、「月間日照時間の多い方から」
等の極値を更新。**

高気圧と前線が交互に通過し、天気は周期的に変化した。湿った空気の流れ込みや台風第15号の影響で大雨となる日があり、降水量はかなり多く、日照時間は少なく、また、高温となる日もあった。21日に博多で日最低気温28.1℃を記録し「日最低気温の高い方から」、21日に朝倉で日最高気温38.4℃、22日に太宰府で37.8℃を記録し「日最高気温の高い方から」の8月の極値を更新した。期間の終わりは前線と台風第15号の影響で大雨となり、30日の日降水量は行橋で205.5mm、太宰府で262.0mmを記録し「日降水量」、耳納山で月降水量577.5mmを記録し「月降水量の多い方から」の8月の極値を更新した。8月は太平洋高気圧に覆われて安定した夏型の気圧配置となり、晴れて高温となる日が多く、博多で月平均気温29.5℃を記録し、「月平均気温の高い方から」の年の極値、行橋で28.7℃を記録し、8月の極値を更新した。また、前原では「月間日照時間の多い方から」の8月の極値を更新した。

旬の気温は、平年を上回る日と下回る日が交互にあり、旬では概ね平年を上回った。降水量は県内各地で平年を大きく上回り、日照時間は平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は26.0～28.2℃(平年差-0.1～0.9℃)で平年並の所が多く、旬降水量

は 286.0～631.5mm（平年比 344～975%）で県内各地平年よりかなり多く、旬日照時間は平年比 68～81%で県内各地平年より少なかった。

(9) 9月の気象概況

9月上旬：前半は前線や台風の影響で雨、後半は高気圧と前線が交互に通って天気は短い周期で変化した。低温 多雨 寡照

期間の前半は九州付近に前線が停滞し、湿った空気の流れ込みでまとまった雨となり、大雨となる所もあり、降水量は多かった。台風第17号は4日03時頃、鹿児島県指宿市付近に上陸、北東進後、日向灘付近で温帯低気圧に変わった。後半は高気圧と前線が交互に通って、天気は短い周期で変化した。

旬の気温は、終わりに平年を上回る日もあったが、平年を大きく下回る日が多く、旬では平年を下回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は22.2～24.3℃(平年差-2.7～-1.4℃)で概ね平年よりかなり低く、旬降水量は102.0～176.0mm(平年比161～307%)で県内各地平年より多く、旬日照時間は平年比58～75%で県内各地平年より少なかった。

9月中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった。少雨 多照

中頃に湿った空気の影響を受けて一時雨となる日もあったが、その他は高気圧に覆われて晴れた。台風第18号は日本の南海上をゆっくりと北上した。16日08時前には愛知県豊橋市付近に上陸し、加速しながら北東に進んだ。

旬の気温は、後半に平年を下回る日もあったが、平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は23.7～26.5℃(平年差0.7～2.2℃)で概ね平年より高く、旬降水量は0.0～16.0mm(平年比0～27%)で概ね平年よりかなり少なく、旬日照時間は平年比150～178%で県内各地平年よりかなり多かった。

9月下旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった。高温 多照

宗像で「月間日照時間の多い方から」の9月の極値更新。

高気圧に覆われて晴れたが、終わりは気圧の谷や前線の影響で雨となった。

9月は高気圧に覆われて晴れた日が多く、宗像で月間日照時間209.3時間を記録し「月間日照時間の多い方から」の9月の極値を更新した。

旬の気温は、後半に平年を下回る日もあったが、平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は21.9～24.8℃(平年差1.2～2.6℃)で平年より高く、旬降水量は3.0～28.5mm(平年比5～23%)で県内各地平年より少なく、旬日照時間は平年比136～158%で県内各地平年より多かった。

(10) 10月の気象概況

10月上旬：天気は数日の周期で変化した。8日は台風第24号の影響を受けた。高温

7日に朝倉などで「日最高気温の高い方から」、8日に前原で「日最大風向・風速」、八幡などで「日最低気温の高い方から」の10月の極値更新。

高気圧と気圧の谷や前線が交互に通る、天気は数日の周期で変化した。7日は暖かい空気の流れ込みと高気圧に覆われて晴れて気温が上がり、朝倉で日最高気温32.8℃、久留米で32.0℃、大牟田で32.0℃を記録し「日最高気温の高い方から」の10月の極値を更新した。8日は九州の西海上を北上し対馬海峡に進んだ台風第24号の影響で風が強く、前原では南南西の風13.4m/sを記録し「日最大風向・風速」の10月の極値を更新した。また、最低気温が高く、八幡で日最低気温23.7℃、行橋で22.9℃、久留米で23.7℃、太宰府で23.3℃、添田で22.3℃を記録し「日最低気温の高い方から」の10月の記録を更新した。

旬の気温は、県内各地で期間を通して平年を上回った。降水量と日照時間は概ね平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は、21.9～24.0℃（平年差2.1～3.9℃）で平年よりかなり高く、旬降水量は11.0～55.0mm（平年比32～163%）で概ね平年並、旬日照時間は平年比69～102%で概ね平年より少なかった。

10月中旬：期間の前半は晴れた日が多く、後半は曇りや雨の日が多かった。

16日に前原で「日最大風向・風速」の10月の極値更新。

期間の前半は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、後半は台風や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。16日は台風第26号の影響で北よりの風が強く、前原では北の風13.4m/sの日最大風向・風速を記録し「日最大風向・風速」の10月の極値を更新した。

旬の気温は、数日の周期で平年を上回る期間と下回る期間が交互に現れ、旬では概ね平年を上回った。降水量は概ね平年を上回り、日照時間は概ね平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は17.0～20.4℃（平年差-0.2～1.1℃）で平年より高い所が多く、旬降水量は17.0～79.0mm（平年比70～342%）で概ね平年より多く、旬日照時間は平年比82～105%で平年並か少なかった。

10月下旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった、中頃は前線や台風の影響を受けて雨。多雨

24日に福岡で「月最大24時間降水量」、太宰府で「月降水量の多い方から」、前原などで「月平均気温の高い方から」の10月の極値更新。

高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、中頃は前線や台風の影響で雨が降り、期間の降水量はかなり多かった。24日は福岡で115.5mmの24時間降水量を記録し「月最大24時間降水量」、太宰府では月降水量252.5mmを記録し「月降水量の多い方から」の10月の極値を更新した。また、10月は上旬を中心に気温が高く、前原で月平均気温19.9℃、太宰府で19.8℃を記録し「月平均気温の高い方から」の極値を更新した。

旬の気温は、前半は平年を上回り、後半は平年を下回る日が多く、旬では概ね平年を上回った。降水量は県内各地で平年を大きく上回り、日照時間は平年を下回る所が多かった。

県内各地の旬平均気温は15.7～18.1℃（平年差0.0～1.2℃）で概ね平年より高く、旬降水量は61.5～200.5mm（平年比311～989%）で県内各地平年よりかなり多く、旬日照時間は平年比81～112%で平年並の所が多かった。

(11) 11月の気象概況

11月上旬：天気は数日の周期で変化した。高温

高気圧と気圧の谷や前線が交互に通り、天気は数日の周期で変化した。暖かい空気に覆われる日が多く、気温は高かった。

旬の気温は、中頃に平年を下回る日もあったが平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は概ね平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は 15.0～17.6℃（平年差 0.3～1.9℃）で平年より高く、旬降水量は 33.0～68.0mm（平年比 101～224%）で概ね平年より多く、旬日照時間は平年比 78～101%で平年並の所が多かった。

11月中旬：天気は数日の周期で変化した。低温

高気圧と気圧の谷や前線が交互に通り、天気は数日の周期で変化した。寒気の影響を受け、気温は低かった。

旬の気温は、中頃に平年を上回る日もあったが平年を下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量と日照時間は概ね平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は 8.8～12.4℃（平年差-2.5～-1.3℃）で県内各地で平年より低く、旬降水量は 4.0～47.5mm（平年比 22～110%）で概ね平年並、旬日照時間は平年比 71～100%で平年並の所が多かった。

11月下旬：初めは高気圧に覆われ概ね晴れ、その後は寒気や前線の影響で曇りや雨。低温

25日は博多などで「日最大風向・風速」の11月の極値更新。

期間の初めは高気圧に覆われ概ね晴れた。その後は寒気や前線の影響で曇りや雨、25日は寒冷前線の通過に伴って風が強く、博多で南東 15.8m/s、黒木で南 6.3m/s を記録し「日最大風向・風速」の11月の極値を更新した。

旬の気温は、中頃は平年を上回ったが、平年を大きく下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は平年を上回る所と下回る所があり、日照時間は平年を下回る所が多かった。

県内各地の旬平均気温は 7.3～10.5℃（平年差-2.1～-0.9℃）で平年より低く、旬降水量は 16.5～54.5mm（平年比 60～132%）で概ね平年並、旬日照時間は平年比 69～116%で平年並の所が多かった。

(12) 12月の気象概況

12月上旬：天気は数日の周期で変化した。

天気は数日の周期で変化した。

旬の気温は、平年を上回る日もあったが、平年を下回る日が多く、旬では概ね平年を下回った。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は6.4～10.5℃（平年差-1.0～0.3℃）で概ね平年より低く、旬降水量は10.0～39.5mm（平年比35～146%）で平年並の所が多く、旬日照時間は平年比104～122%で概ね平年より多かった。

12月中旬：前半は冬型気圧配置、後半は気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。

前半は冬型気圧配置による寒気の影響で曇りや雨となる日が多く、12日はみぞれを伴った。後半は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨となった。

旬の気温は初めと中頃に、平年を上回る所もあったが、平年を下回る日が多く、旬では概ね平年を下回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で概ね平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は4.8～8.2℃（平年差-1.1～0.0℃）で平年より低い所が多く、旬降水量は19.0～53.0mm（平年比120～234%）で概ね平年より多く、旬日照時間は平年比52～77%で県内各地平年より少なかった。

12月下旬：冬型気圧配置による寒気や気圧の谷の影響で曇りや雨、または雪の日が多かった。

低温

柳川で「月降水量の多い方から」の12月の極値更新。

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、冬型気圧配置による寒気や気圧の谷の影響で曇りや雨または雪の日が多く、雷やあられを伴う日もあった。柳川では月降水量97.0mmを記録し「月降水量の多い方から」の12月の極値を更新した。

旬の気温は、終わりに平年を上回る日もあったが、平年を下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は平年を上回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は3.3～6.6℃（平年差-1.9～-0.9℃）で平年より低く、旬降水量は1.5～37.0mm（平年比11～218%）で概ね平年並か多く、旬日照時間は平年比64～91%で平年並か少なかった。

(13) 月別値の階級区分

福岡の月別値の階級区分

年 月	月平均気温	月降水量	月日照時間
平成 25 年 1 月	低い	平年並	かなり多い
平成 25 年 2 月	平年並	多い	多い
平成 25 年 3 月	かなり高い	かなり少ない	かなり多い
平成 25 年 4 月	平年並	平年並	多い
平成 25 年 5 月	高い	かなり少ない	かなり多い
平成 25 年 6 月	高い	平年並	かなり少ない
平成 25 年 7 月	かなり高い	少ない	多い
平成 25 年 8 月	かなり高い	かなり多い	かなり多い
平成 25 年 9 月	高い	平年並	かなり多い
平成 25 年 10 月	かなり高い	かなり多い	平年並
平成 25 年 11 月	平年並	多い	少ない
平成 25 年 12 月	低い	多い	平年並

階級区分について

気象要素の分布を値の大(高)、小(低)によって、「高い(多い)」、「平年並」、「低い(少ない)」の3階級を用い、平年から極端に異なった状況を表現する場合には、「かなり高い(多い)」、「かなり低い(少ない)」を補足的に用いています。3階級の出現率は「33.3%、33.3%、33.3%」(1:1:1)の等確率で、「かなり高い(多い)」、「かなり低い(少ない)」の出現率は10%です。

ここでは、福岡管区気象台の階級区分を使用しています。